

新基地建設反対名護共同センターニュース

抗議排除し 陸自が宮古島に弾薬搬入



県統一連のスタンディング。左から統一連瀬長事務局長、一人おいて穴井議長、仲村代表幹事など。(県平和委員会のFBより) 下は沖縄タイムス15日の社会面



陸上自衛隊は14日、宮古島の陸自「保良訓練場」へ地对艦ミサイルをみられる弾薬を搬入しました。陸自配備に反対する市民は弾薬搬入阻止の抗議行動を繰り広げましたが、県警が強制排除し搬入させました。

県統一連が抗議のスタンディング

沖縄県統一連は13日、県庁前で宮古島自衛隊のミサイル配備に抗議するスタンディングを行いました。仲村代表幹事や県労連穴井輝明議長、県平和委員会大久保康裕事務局長ら8人が参加。仲村氏などがマイクを握り、「宮古島へのミサイル配備は市民の民意を無視するだけでなく、敵の標的となり宮古島を戦争に巻き込む」「沖縄戦の教訓は、軍隊は住民を守らない、だ」「戦争を回避する平和外交こそ行え」「憲法9条を生かし、基地のない平和な沖縄を」と訴えました。

宮古島を戦争に巻き込むミサイル配備

ヘリ基地反対協・海上チームに 多田謡子反権力人権賞

ヘリ基地反対協の海上チーム(写真)に「多田謡子反権力人権賞」が贈られることになりました。同賞は、29歳で死亡した弁護士多田謡子さんを記念して、多田さんの遺産をもとに1989年に創設されました。毎年、自由と人権を擁護するために活動しているとされる個人または団体に贈られます。これまで宮城秋乃氏、山城博治氏なども受賞しています。12月18日に都内で授賞式・記念講演会・交流パーティが開催されます。



雨ニモマケズ 沖縄市で50人がブルーアクション



11月6日(土)の第2回ブルーアクションで沖縄市民会議は大雨にも負けず50人がスタンディング、辺野古新基地建設への抗議の意思を示しました。

日本母親大会 沖縄北部会場に10人参加、交流



第66回日本母親大会in沖縄(同実行委員会主催)は13日、オンラインで開かれました。沖縄県北部会場となった新基地反対名護共同センターには生協労連コープ沖縄労働組合、新婦人名護支部、名護民商などから10人が集まり、映し出された記念講演や文化行事、各地の報告を熱心に視聴しました。終了後、参加者は自己紹介し合い、交流しました。

【参加者の感想文から】

● 記念講演の仲山先生のお話は素晴らしく、感動してもらい泣きそうでした。平和をめざし、女性が闘いの先頭に立つという思いを常に心に留めて、自分ができることから始めていきたいと思いました。ありがとうございます。

● エイサーや琉舞も実際に見てもらえたら、もっと良かったと思いますが、コロナ禍なので仕方ないと思います。大会に参加できてよかったです。

● 今年はズームで残念ですが、また交流できてよかったです。ズームでしたが全国のたまたかの思いが伝わって良かったです！